

## 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 2.5次元炭素骨格が生み出す超省エネルギー表面の創製と探索
2. 研究代表者： 野老山 貴行（名古屋大学 工学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、炭素のミクロ構造に着目した革新的な超低摩擦発現材料の探索と発現メカニズムの解明に取り組んでいる。フェーズ1では、2022年度に計画されていた基礎プロセスは順調に研究が遂行されたが、2022年度および2023年度に計画されていた発展～挑戦プロセスについては、現状では、長い探索時間をかけて、より一層の検討が必要である。フェーズ2では、評価の迅速化などを行い、グラファイトの方向性などについても新たに探索を行うことにより、最終的には超低摩擦状態を達成し、低摩擦・摩耗材を実現する製造方法の指針が得られるところまで挑戦することに期待する。

以上